

第1676号 2025年3月20日

☆帝国主義国、植民地従属国、「労働者国家」の階級闘争を  
世界プロ独一世界共産主義の勝利へ！  
共産主義者同盟（統一委員会）

# 革命万葉



無罪判決の勝利の報告があこなわれた（2月26日 京都地方裁判所前）

発行所 戦旗社

編集発行人 鹿島 昂  
東京都足立区綾瀬7-2-11  
電話 03 (6876) 6136  
郵便振替 00180-4-176133  
<http://www.bund21.org>

今号の内容  
今号 6 頁 200 円  
年間購読料（送料込）  
開封 6,300 円 密封 7,000 円

3面：公的介護制度の危機突破のため  
介護業種別・産別労働運動の建設を  
4面：あらゆる女性の解放を目指して  
沖縄の米兵による性暴力事件を許さず  
女性解放運動を闘おう  
「孤立出産」に追い込む技能実習制度  
無罪の実習生を支援しよう  
北欧モデルではなく  
セックスクワードの非犯罪化を  
6面：佐賀空港軍事基地化阻止！

分断対立を激化させる  
米帝トランプ

トランプとゼレンスキー  
会談決裂  
二月二八日、米・ウクライナ首脳会談がウシントンで行われた。激論となり、決裂した。米帝はこれまでウクライナの後ろ盾となってロシアー反戦の声をアーチン、ゼレンスキー、トランプに突きつけ、即時停戦を実現しようと。激論となり、決裂した。米帝はこれまでウクライナの後ろ盾となってロシアー反戦の声をアーチン、ゼレンスキー、トランプに突きつけ、即時停戦を実現しようと。

突如軍事支援停止を発表した。トランプは戦費と引き換えた希少資源に関する協定で、ゼレンスキーを屈服させようとしている。トランプは、戦争も停戦も経済的利害の一環としてのみ見ていることを、全世界に自ら暴露した。

三月一日、ガザ虐殺戦争の「停戦宣言第一段階」の六週間の期限を迎えたが、イスラエルは恒久的な停戦に向けた第二段階への移行を拒んでいる。三月九日、ガザ地区への送電を止め、ハマスへの圧力をさらに強めた。ハマスは「送電停止などの措置は集団懲罰であり戦争犯罪だ」として非難した。ガザ地区では送電停止によって下水処理ができないこと、全世界に自ら暴露した。

イスラエルの侵略を弾劾

# 虐殺弾劾！

# イスラエルは停戦せよ

25春闘を闘い、最賃大幅引き上げを

くなるなどと報道されてい

する！ トランプの「ガザ

存在を否定する方針をとっ

ている。対立と分断を生む

パレスチナ人民と連帯し、

パレスチナ解放を闘おう。

イーロン・マスクを「政府

効率化省」のトップに据え、連邦政府職員の削減を進め

て新自由主義グローバリゼーションを推し進めてきた

G20と米帝が対立する事態となっているのだ。

米國貿易システムを支持し、防衛費はかつてGDP比1%を上限としてきたが、岸田前首相が二〇二七年までに2%に増額することを打ち出し、二三年度にはGDP比1.2%の六兆八〇〇億円を計上した。予算案は八兆七〇〇五億円もの額を計上している。

トランプ打倒を闘う米国の労働者階級人民と連帯し、闘い抜こう。

議長総括は「世界貿易機関（WTO）を中心としたルールに基づく貿易体制に対する支持を表明。参加国が保護主義に抵抗する決意を改めて表明した」「ルールに基づいた、差別のない、公正・持続可能な多

くなかつた。各国が米国のクアッド、日米韓、日米比ドやカナダ、クリーンランの自治政府首相は「米国人にもテンマーク人にもなりたくない」と反発した。

トランプは一月二〇日、大統領就任直後に気候変動対策の国際ルール「パリ協定」から米国が離脱するための大統領令に署名した。

「化石燃料を掘りまくれ」と呼びかけた。

トランプ打倒を闘う米国の労働者階級人民と連帯し、闘い抜こう。

議長総括は「世界貿易機関（WTO）を中心としたルールに基づく貿易体制に対する支持を表明。参加国が保護主義に抵抗する決意を改めて表明した」「ルールに基づいた、差別のない、公正・持続可能な多

くなかつた。各国が米国のクアッド、日米韓、日米比ドやカナダ、クリーンランの自治政府首相は「米国人にもテンマーク人

## 2・22 鹿児島 沖縄・西日本ネットワーク 結成集会開催される

二月二日、「戦争止めよう! 沖縄・西日本ネットワーク」の結成集会が鹿児島市内で開催された。安保三文書の下、沖縄の島々や九州など西日本地方では、ミサイル部隊の配備やミサイル弾薬庫建設など戦争体制づくりがおし進められている。これに対して、二〇一三年一月の沖縄県民和平大集会を契機に、その後、愛媛、吳、大分などで交流集会を積み重ねながら、各地の闘いを結ぶネットワークの発足に向けた準備が進められ、いよいよこの日の結成集会に至った。

「馬毛島の米軍施設に対する市民団体連絡会」の長野広美さんは、島全体が巨大な軍事基地に変貌させられようとしている馬毛島の現状を報告した。「戦争のための自衛隊配備に反対する奄美ネット」の城村典文さんは、「世界自然遺産地・奄美群島の軍事要塞化と頻繁に行われる日米軍事訓練」と題して、奄美大島、徳之島、沖永良部島の状況とそれに対する住民の取り組みを報告した。「さつま町の弾薬庫問題を考える会」の武さんみさんからは、住民での戦争体制づくりに対する意見が述べられた。

田年宏さんが、パワーポイントを使って各地での戦争体制づくり・基地強化の状況を報告した。

続いて、鹿児島県での戦争体制づくりに対する三つの報告が行われた。

最初に「ノーモア沖縄・えひめの会」の高井弘之さんによる基調提案が行われた。

高井さんは、日米が進められる対中国軍事包囲網の建設

トワークの発足に向けた準備が進みられ、いよいよこの日の結成集会に至った。

会場となつた鹿児島市のほかセゾンタ一には九州をはじめ各地から約三〇人が集まつた。また、オンラインでも約二〇〇人の視聴があり、ネットワークの結成に寄せる注目と期待が示された。

集会は二部構成で、第一

部は各地、とりわけ鹿児島

での戦争体制づくりに対する

取り組みが報告された。

まず、「沖縄・西日本で進む軍事強化の報告」として、「大部分戸ミサイル弾薬庫建設問題の経過建設問題を考える会」の池

田年宏さんが、パワーポイントを使って各地での戦争体制づくり・基地強化の状況を報告した。

休憩を挟んで、第二部として、「戦争止めよう! 沖縄・西日本ネットワーク」の結成総会が行われた。

最初に「ノーモア沖縄・えひめの会」の高井弘

之さんによる基調提案が行

われた。

高井さんは、日米が進められる対中国軍事包囲網の建設

トワークの発足が確認され

た。

その後、「ピースリンク広

島・呉・岩国」の新田秀樹

さんが、ネットワークの結

成趣旨や連帯要綱を提案し

た。いくつかの質疑や会場

トワークの結成を呼びかけ

た。

翌二三日には、自衛隊のミサイル弾薬庫建設が狙わ

れようとしている馬毛島

の状況を報告した。

この日は、主に鹿児島

をはじめ各地から300人が結集した(2月22日 鹿児島市)

## 25春闘を闘い抜こう

### 非正規労働者の闘い

正規・非正規の差別は歴

史としてある。

最高裁まで

争われたメトロコマースや

郵政で働く労働者の訴え

は、基本給やボーナスなど

の基本的な賃金の差別待遇

を「職務内容は、会社側ど

うに昇任、昇格を期待するよ

うなものではない」「転勤

や勤務地の変更などを行わ

う等を理由にして「差別的

扱いではない」として退け

られた。

経団連の経営労働政策特

別委員会報告(経労委報告)

においても、「職務内容・配

置転換の範囲、その他の事

情を考慮して不合理な待遇

がある。

現在は、労働組合に加盟

している人が少数となつて

いる職場においても、労働

組合との交渉が行わ

る。しかし、会社側が

「過半数代表者」となつて

組織している互助会などが

ある。

われわれは、世界中の労

働者階級人民と連帯し、侵

襲反革命戦争の道を拒否

し、反帝國主義・自国帝国主

義打倒の闘いを挑むこ

う。

われわれは、世界中の労

働者階級人民と連帯し、侵

襲反革命戦争の道を拒否

し、反帝國主義・自国帝国主義打倒の闘いを挑むこ







